

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 1 区分
【発行日】令和 3 年 1 月 14 日 (2021.1.14)

【公表番号】特表 2020-502021 (P2020-502021A)
【公表日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)
【年通号数】公開・登録公報 2020-003
【出願番号】特願 2019-529177 (P2019-529177)
【国際特許分類】

C 0 3 B 7/22 (2006.01)

C 0 3 B 17/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 B 7/22

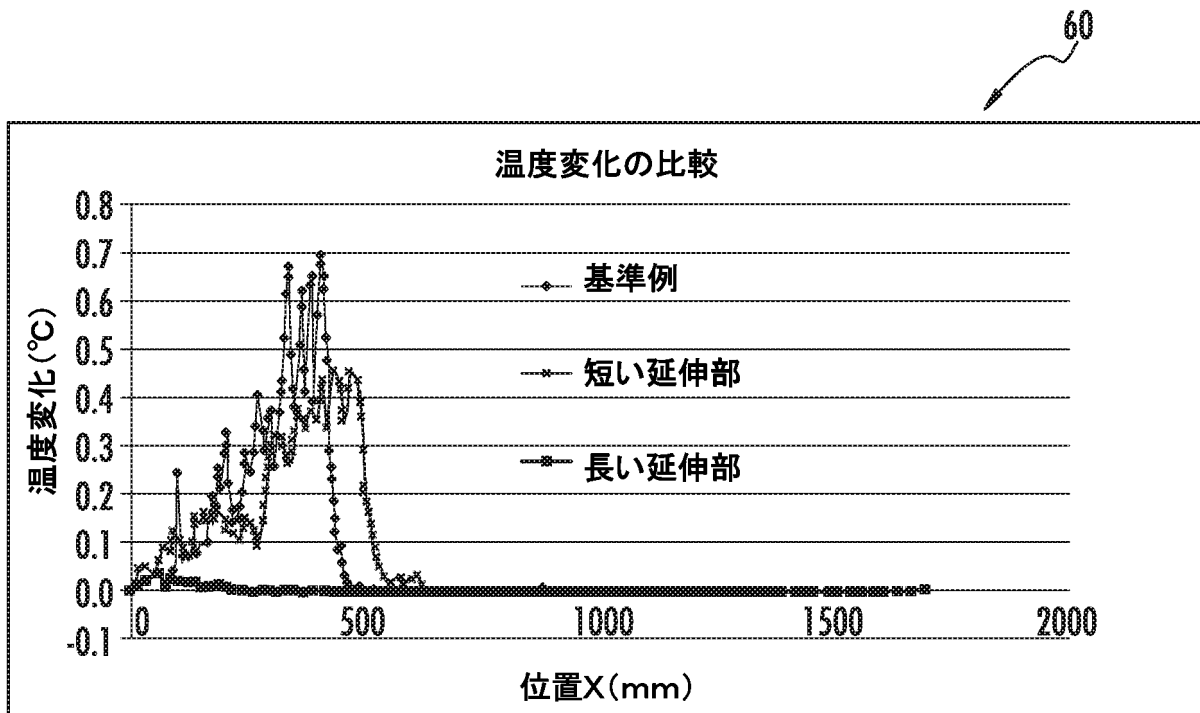
C 0 3 B 17/04 A

【手続補正書】
【提出日】令和 2 年 11 月 25 日 (2020.11.25)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 3
【補正方法】変更
【補正の内容】
【 0 0 3 3 】

図 3 を参照すると、図 2 A ~ C の各例 (A)、(B)、(C) について、ドロー高さ位置 X に対する温度変化のプロット 6 0 を示している。位置 X は、ベル部からの距離であり、そこでは、ガラス温度は、一定に保たれ、時間の経過と共に変化しない。位置 X において、そのようなガラス温度変化を、経時測定している。図から分かるように、長い方のマッフル部 1 5 4 c の方が、短い方のマッフル部 1 5 4 a、1 5 4 b より、ベル部からの距離 X に亘って、ガラス温度プロファイルが安定している (0 . 1 未満)。実際、長い方のマッフル部 1 5 4 c は、0 . 1 未満など、約 0 . 5 未満の温度変化を有し、一方、短い方のマッフル部 1 5 4 a は、0 . 5 より大きい温度変化を有する。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 3
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図 3】



【手続補正 3】

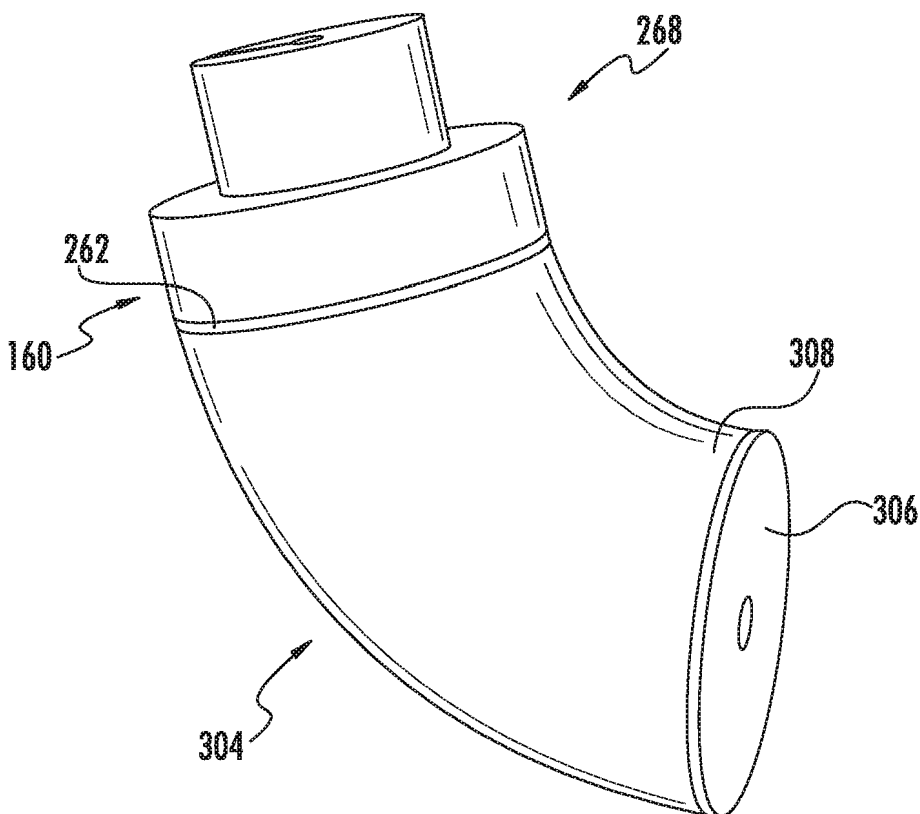
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 3】



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1 4】

